

## 第二期決算公告

東京都新宿区新宿4丁目1-6 JR新宿ミライナタワー

VicOne株式会社

代表取締役／CEO Max Cheng

### 貸借対照表(2024年12月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
〈資産の部〉		〈負債の部〉	
流動資産	630,279	流動負債	2,464,852
現金及び預金	389,329	買掛金	1,479,101
売掛金	36,800	未払金	974,039
未収入金	200,835	未払費用	1,043
前払費用	1,992	未払法人税等	8,150
仮払税金	1,322	預り金	2,516
固定資産	1,915,225		
有形固定資産	2,575		
工具、器具及び備品	3,639		
減価償却累計額	△ 1,063		
工具、器具及び備品(純額)	2,575		
無形固定資産	1,580,523		
ソフトウェア	1,558,477		
商標権	22,046		
投資その他の資産	332,126		
投資有価証券	237,270		
関係会社株式	91,491		
保証金	3,365		
資産合計	2,545,505		
		負債合計	2,464,852
		〈純資産の部〉	
		株主資本	80,653
		資本金	1,200,000
		資本剰余金	1,200,000
		資本準備金	1,200,000
		利益剰余金	△ 2,319,346
		その他利益剰余金	△ 2,319,346
		繰越利益剰余金	△ 2,319,346
		純資産合計	80,653
		負債・純資産合計	2,545,505

損益計算書(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

科 目	金 額	金 額
売上高		65,258
売上原価		210,778
売上総損失		△145,493
販売費及び一般管理費		1,194,815
営業損失		△1,340,308
営業外収益		
受取利息	6,730	
雑収入	81	6,811
営業外費用		
為替差損	90,934	90,934
経常損失		△1,424,431
税引前当期純損失		△1,424,431
法人税、住民税及び事業税	950	
法人税等調整額	1,929	2,879
当期純損失		△1,427,310

## 個 別 注 記 表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式・・・移動平均法による原価法

その他の有価証券

市場価格のない株式等・・・移動平均法による原価法

### 2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産を除く)

定率法によっております

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります

工具、器具及び備品 3年～5年

無形固定資産

自社利用のソフトウェア

社内における見込み利用可能期間(主に5年)に基づく定額法

その他の無形固定資産

定額法によっております

### 3. 収益の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点(収益を認識する通常の時点)は以下のとおりであります。

ソフトウェアライセンスにおける収益は、主にセキュリティ関連のソフトウェアライセンスの提供によるものであり、顧客とのライセンス契約に基づいてソフトウェアライセンスを提供する義務を負っております。

サポートサービスにおける収益は、主にセキュリティ関連費用のサポートサービスの提供によるものであり、顧客とのサポートサービス契約に基づいて当該サービスを提供する義務を負っております。

当社から顧客に提供される財又はサービスの本質は、最新のコンピュータウイルスからの保護を顧客に提供することであり、顧客へのソフトウェアライセンスの提供、サポートサービスに含まれるソフトウェアのアップグレード等の提供は、それぞれ単独では、最新コンピュータウイルスからの保護を顧客に提供できず、相互依存性・関連性が高いため、一体不可分の単一の履行義務となっております。

コンピュータウイルスからの顧客の保護は、顧客がソフトウェアライセンスの利用を開始してから契約期間に応じて提供されるため、一定の期間にわたり充足される履行義務であり、その対価については、利用開

始時点から契約期間にわたり均等に期間配分し、当事業年度に対応する額を収益計上しております。  
また、これらの履行義務に対する対価は、契約における重要な金融要素は含んでおりません。